

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 9 行政機能が高くなる**

**行動目標 9-3 行政活動の財政基盤を強化する**

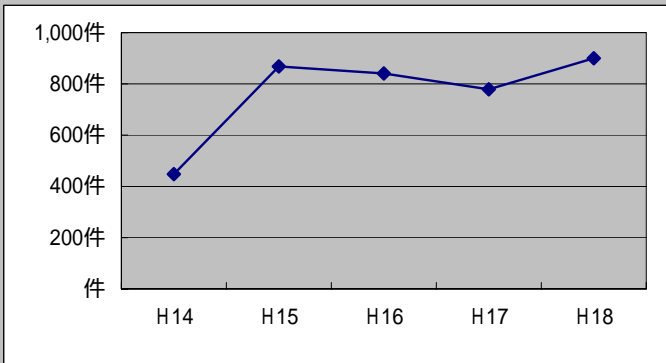
(所管課名 税務理財部市民税課)

<b>任務</b>	適正な市民税等の課税を行い、税財源を確保する
-----------	------------------------

**任務の成果・活動指標の推移**

**個人市民税の未申告者のうち、調査により申告させた件数**

H14実績	448件
H15実績	868件
H16実績	841件
H17実績	779件
H18目標	900件以上



**指標の説明**

抽出した未申告者のうち、調査(電話・催告書・戸別訪問)し、新規に申告させた件数

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

未申告者対策として呼び出し件数は毎年1,500件程度実施し、調査により申告させた件数は左記のとおりです。17年度については申告件数では減少したものの追徴税額では増加しております。

未申告者対策は税の公平性を確保するため必要な手段として今後も実施する。

16年度に部内でワーキング・グループを立ち上げ8月に「外国籍市民のための市税共生プラン」を策定し、納税通知書の封筒に4カ国語(中国語、ポルトガル語、ハンゲル後、英語)の注釈文を併記するなど4項目を実施した。

ブラジル人を中心とした外国籍市民が増加する中、滞納を削減するには税の仕組みを理解してもらうことが大切であり、市税に関する情報発信をすることは重要な責務である。

**平成18年度**

戦略プランの最終年であり、公平かつ適正な課税の実現に向けて引き続き未申告者に対する調査・戸別訪問を実施する。また「共生プラン」に基づき納税通知書の記載事項について4カ国語の説明書を同封する予定である。更にプランの実効性を検証するとともに、外国人対策の取組内容の充実を図っていく。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

税源移譲などの税制改正については、「広報よっかいち」や「市ホームページ」等を活用し積極的に税情報を発信し、納税者への周知と理解に努める。あわせて、説明責任を果たすため職員の資質向上に努める。